

◆ 研究所概要



組織名	地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター	
所在地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号	
職員数	180名 (非常勤・派遣31名を含む)	

サイト(敷地), 建物	敷地面積	81,840㎡
	建築面積	17,101㎡
	延床面積	38,197㎡

◆ 事業活動の環境への影響 (平成 29 年度実績)

地方独立行政法人大阪産業技術研究所和泉センター(以下、法人和泉センター)は環境改善につながる活動を推進しています。法人和泉センターには特に大きな環境影響を及ぼす施設や活動はありませんが、公設試験研究機関という業務の特殊性から薬品、高圧ガスをはじめとする多種多様な化学物質を使用しており、それらの取扱いによっては、環境に対して影響を及ぼしうるものと認識しています。

INPUT

電力使用量	:	6,050	千 kWh
都市ガス使用量	:	161	千 m ³
水道使用量	:	14	千 m ³
紙使用量	:	866	千枚

OUTPUT

廃棄物排出量

事業系一般廃棄物	:	9.0	トン
産業廃棄物合計	:	25.3	トン
(内、特別管理産業廃棄物)	:	1.0	トン

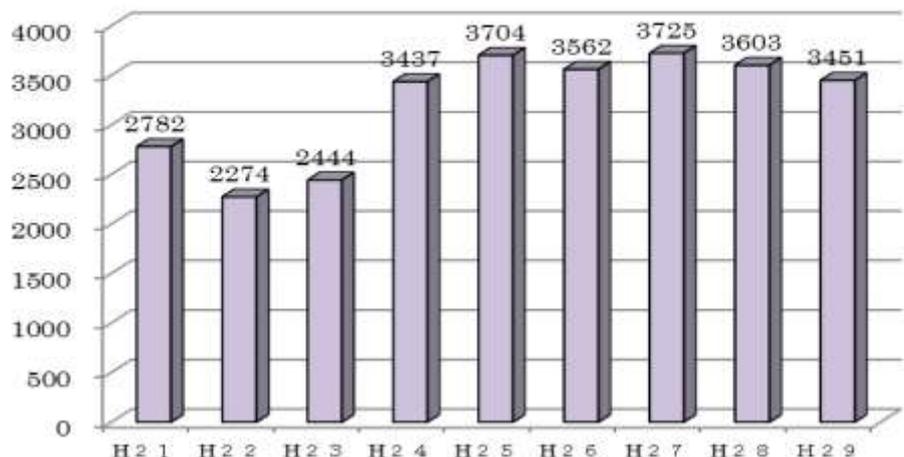
◆ 環境パフォーマンス

過去9年間の電気、都市ガス、水道の使用量を CO₂ 排出量に換算しました。

法人和泉センターでは平成22年度までは、ほぼ順調に CO₂ 排出量を減少させてきましたが、平成23~25年度は排出係数の上昇等により、前年度に比べ、増加しました。

平成29年度は、電気使用量が減少したため平成28年度より CO₂ 排出量を約150トン減少することができました。

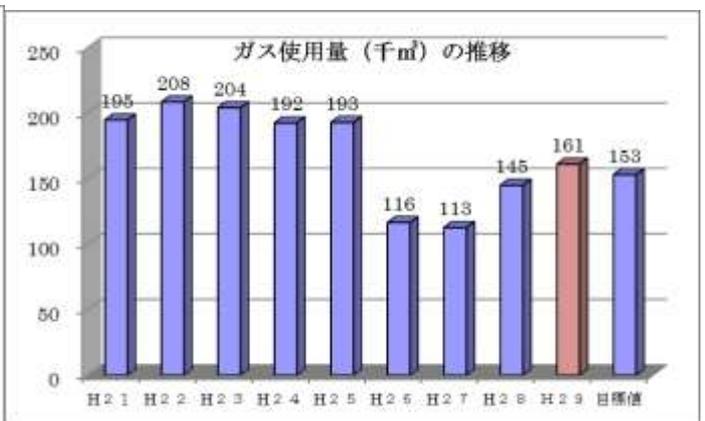
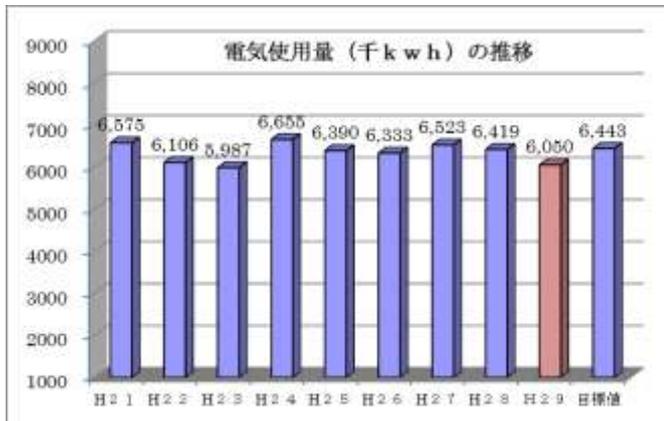
CO₂排出量 (t)
電気・都市ガス・水道・使用量から換算



◆ 省エネルギーへの取組み

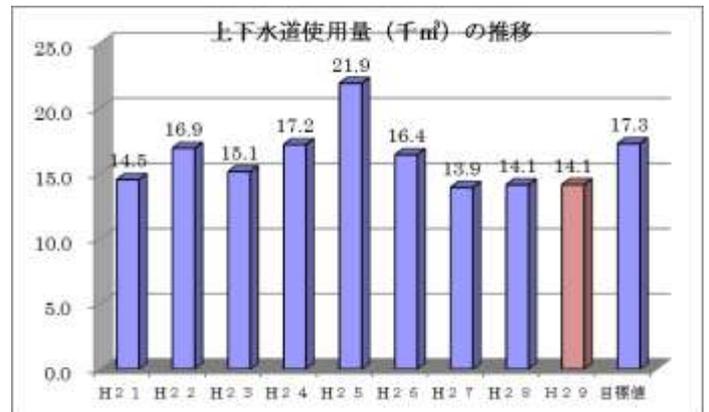
■ 電気・ガス使用量について

平成 29 年度の電力の使用量は、前年度より減少し、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値から 5 カ年で 2.5%の削減、6,443 千 kWh 以下）を達成しました。しかし、平成 29 年度のガス使用量は昨年度より増加し、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値から 5 カ年で 2.5%の削減、153 m³以下）を達成できませんでした。



■ 水道使用量について

平成 29 年度の上下水道の使用量は昨年度とほぼ同様（10 m³増加）で、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値から 5 カ年で 2.5%の削減、17.3 千 m³以下）を達成しました。



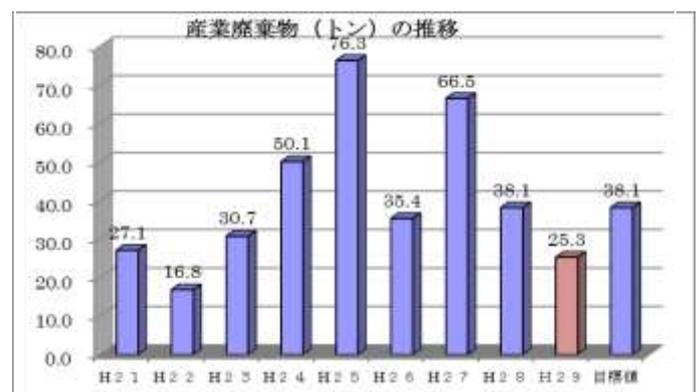
■ コピー用紙使用量について

コピー用紙使用枚数は平成 28 年度に比べ、約 116 千枚減少し、目標値（平成 24 年～平成 27 年の平均値から 5 カ年で 2.5%の削減、934 千枚）を達成することができました。



■ 産業廃棄物について

平成 28 年度に多量の金属くず等を処分したことから、平成 29 年度は前年度比 12.8 トン削減となり、目標を達成することができました。ただし、第 7 実験棟新設にあたり 530 トンの産業廃棄物が発生しました。



■ その他の取組みについて

平成 29 年度には、効率的なエネルギー利用を実現するため、終日空調を稼働していた一部の部屋について空調稼働時間を見直し電気使用量の削減に成功しました。また、ガスを使用して電気を発電する燃料電池の立証試験に協力し創エネを実現しました。今後とも環境改善に関する体制を維持し、地域環境保全を確保するための努力を継続していきます。